

車両火災 記入例

様式第 11 号の 3(第 40 条関係)

提出年月日を記入

津山圏域消防組合 消 防 長 殿		○○年○○月○○日	
火元者等(占有者・管理者・所有者)で、当該車両について民法上最も権限を有するものの届け出を基本とする。		届出人住所 岡山県津山市林田○○番地 職 業 会社員 氏 名 消防 太郎	
火 災 損 害 届 (車両・船舶・航空機・林野・その他)			
1	り 災 日	○○年 ○○月 ○○日	
2	り 災 場 所 及び対象名	岡山県 津山市林田○○番地 自宅前の市道	
り災物件と届出人の関係 1. 所有者 2. 管理者 3. 占有者 4. その他( )			
3 車 両	運 転 者 氏 名	消防 太郎	車 名 ・ 年 式 ○○ワゴン 2024 年式
	用 途 別	自家用普通乗用車 (普通乗用車)	購 入 年 月 2024 年 4 月
	車 両 番 号	岡山○○→○○○○	購 入 金 額 4,000,000 円
焼損箇所及び損害見積額		水損	その他の損害及び損害見積額
全損 1,856,000 円		円	円

時刻不明の場合は調査担当職員に聞き、提出の際に記入して下さい。

プレートを受けていない場合は車台番号を記入する。

上記車両損害見積額の計算例

(購入金額4,000,000円×経年数2年0.464=損害見積額1,856,000円となります。)

※消耗品としての自動車の耐用年数は最も耐用年数の短い軽四乗用が3年から普通乗用車の6年となっております。  
損害見積額の残存率は普通乗用車は「経年1年未満=1・経年1年以上=0.681・経年2年以上=0.464・経年3年以上=0.316・経年4年以上=0.215・経年5年以上=0.146・経年6年以上=0.100(経過年数が古い物であっても経過年数は残存率は0.1を下回らないようにして下さい。)」を目安に計算して下さい。  
※ クラシックカーなどの希少価値のある自動車については、車両査定価格を参考に計算して下さい。

5 積 載 物	焼損物品及び損害見積額	水損物品及び損害見積額	損害物品及び損害見積額
	15,000 円	焼損物品の明細をり災物件明細書に記入し、その合計を記入する。	
り災物件の所有者・管理者・氏名 津山 次郎			
6 火災 保 険	車両・船舶・航空機	保険会社名	岡山損害保険
	積 載 品	保険会社名	保険金額 1,300,000 円
		保険会社名	保険金額 円

津山圏域消防組合

7 林 野	所有別	1 国有 2 県有 3 市町村有 4 財産区 5 私有 6 その他( )					
	種 別	円					
	焼損物件の内訳	年 生					
8 そ の 他	焼損物件名及び損害見積額	水損物件名及び損害見積額	その他の損害及び損害見積額				
	円		円		円		
り災物件の所有者(管理者)氏名							
9	火災保険	林野・その他り災物件	保険会社名	保険金額	円		
10	連 絡 先	住所	氏名	電話			
注 意 事 項							
<p>1. この届出は、消防法第 34 条に基づいて提出を求めるものです。</p> <p>2. この届出の提出がなければ、り災の証明書が発行できない場合があります。</p> <p>3. この届出は、り災した日から起算して 1 週間以内に提出してください。</p>							
記 入 要 領							
(2)の欄 り災物件と届出者の関係は、あてはまるものを○で囲んでください。							
(3)の欄 用途別は、乗用・貨物・貨物乗用・乗合バス・機関車・客車等の種別を具体的に記入してください。							
(4)の欄 用途は、はしけ・機帆船・貨物船・遊覧船・旅客機・練習機・自衛隊機等の種別を具体的に記入してください。							
(5)の欄 り災物件の所有者・管理者・氏名は、物件の所有者・管理者と届出者が異なる場合のみ、あてはまるものを○で囲み、氏名を記入してください。							
(7)の欄 (1)所有別で、その他に該当する場合は( )内に具体的に記入してください。 (2)焼損物件の内訳は、立木の種類、生育年数、焼損本数又は石数を記入してください。							
備 考 不明な点の問い合わせ及び提出は、次の消防署へお願いします。 調査担当 署・所 氏名 電話番号 ( )							

津山圏域消防組合

船舶火災 記入例

様式第 11 号の 3(第 40 条関係)

提出年月日を記入

津山圏域消防組合  
消 防 長 殿

○○年○○月○○日

火元者等(占有者・管理者・所有者)で、当該車両について民法上最も権限を有するものの届け出を基本とする。

届出人住所 岡山県津山市林田○○番地  
職 業 会社員  
氏 名 消防 太郎

火 災 損 害 届 (車両・船舶・航空機・林野・その他)

1 り 災 日 ○○年 ○○月 ○○日 ← 時刻不明の場合は調査担当職員に聞き、提出の際に記入して下さい。

2 り 災 場 所 及び対象名 岡山県 苫田郡鏡野町久田下原○○番地北約 200m付近ダム湖船舶係留場所

り災物件と届出人の関係 1. 所有者 2. 管理者 3. 占有者 4. その他( )

3 運 転 者 氏 名 車 名 ・ 年 式  
用 途 別 購 入 年 月 年 月

消耗品としての船舶の木船・強化プラスチック船で耐用年数が最も長いもので6年程度となっております。損害見積額の残存率は「 経年1年未満=1 ・経年1年以上=0.681 ・経年2年以上=0.464 ・経年3年以上=0.316 ・経年4年以上=0.215 ・経年5年以上=0.146 経年6年以上=0.100 (経過年数が古い物であっても経過年数は残存率は0.1を下回らないようにして下さい。) 」を目安に計算して下さい。

4 船 (機) 長 名 消防 太郎 船 (機) 名 大漁丸  
用途・船(機)種 動力漁船 (強化プラスチック船) 購 入 年 月 2024 年 4 月  
屯数・船(機)籍 5メートル船・日本国 購 入 金 額 10,000,000 円  
焼 損 箇 所 及 び 損 害 見 積 額 水 損 箇 所 及 び 損 害 見 積 額 その他の損害及び損害見積額  
円 円 円

5 積 載 物 焼 損 物 品 及 び 損 害 見 積 額 水 損 物 品 及 び 損 害 見 積 額 損 害 物 品 及 び 損 害 見 積 額  
円 円 円  
り災物件の所有者・管理者・氏名

6 火 災 保 険 車 両 ・ 船 舶 ・ 航 空 機 保 険 会 社 名 岡山損害保険 保 険 金 額 10,000,000 円  
積 載 品 保 険 会 社 名 保 険 金 額 円

津 山 圏 域 消 防 組 合

7 所有別 1 国有 2 県有 3 市町村有 4 財産区 5 私有 6 その他( )  
林 野 種 別 円  
焼 損 物 件 の 内 訳 年 生  
8 そ の 他 焼 損 物 件 名 及 び 損 害 見 積 額 水 損 物 件 名 及 び 損 害 見 積 額 その他の損害及び損害見積額  
円 円 円  
り災物件の所有者(管理者)氏名  
9 火災保険 林野・その他り災物件 保険会社名 保 険 金 額 円  
10 連 絡 先 住 所 氏 名 電 話

注 意 事 項

- この届出は、消防法第 34 条に基づいて提出を求めるものです。
- この届出の提出がなければ、り災の証明書が発行できない場合があります。
- この届出は、り災した日から起算して 1 週間以内に提出してください。

記 入 要 領

(2)の欄) り災物件と届出者の関係は、あてはまるものを○で囲んでください。

(3)の欄) 用途別は、乗用・貨物・貨物乗用・乗合バス・機関車・客車等の種別を具体的に記入してください。

(4)の欄) 用途は、はしけ・機帆船・貨物船・遊覧船・旅客機・練習機・自衛隊機等の種別を具体的に記入してください。

(5)の欄) り災物件の所有者・管理者・氏名は、物件の所有者・管理者と届出者が異なる場合のみ、あてはまるものを○で囲み、氏名を記入してください。

(7)の欄) (1)所有別で、その他に該当する場合は( )内に具体的に記入してください。  
(2)焼損物件の内訳は、立木の種類、生育年数、焼損本数又は石数を記入してください。

備 考 不明な点の問い合わせ及び提出は、次の消防署へお願いします。  
調査担当 署・所 氏名  
電話番号 ( )

津 山 圏 域 消 防 組 合

林野火災 記入例

様式第 11 号の 3(第 40 条関係)

提出年月日を記入

津山圏域消防組合 消 防 長 殿						○○年○○月○○日
火元者等(占有者・管理者・所有者)で、当該車両について民法上最も権限を有するものの届け出を基本とする。 届出人住所 岡山県津山市林田○○番地 職 業 会社員 氏 名 消防 太郎						
火災損害届(車両・船舶・航空機・林野・その他)						
1	り 災 日	○○年 ○○月 ○○日	時刻不明の場合は調査担当職員に聞き、提出の際に記入して下さい。			
2	り 災 場 所 及び対象名	岡山県 久米郡美咲町藤田上○○番地北約 2 0 0 m 付近 原野(果樹園)				
	り 災 物 件 と 届 出 人 の 関 係	1. 所有者 2. 管理者 3. 占有者 4. その他( )				
3	運 転 者 氏 名		車 名 ・ 年 式			
	用 途 別		購 入 年 月	年	月	
	車 両 番 号		購 入 金 額		円	
車 両	焼 損 箇 所 及 び 損 害 見 積 額	水 損 箇 所 及 び 損 害 見 積 額	その他の損害及び損害見積額			
	円	円	円			
4	船(機)長名		船(機)名			
	用途・船(機)種		購 入 年 月	年	月	
	屯数・船(機)籍		購 入 金 額		円	
船 舶 ・ 航 空 機	焼 損 箇 所 及 び 損 害 見 積 額	水 損 箇 所 及 び 損 害 見 積 額	その他の損害及び損害見積額			
	円	円	円			
5	焼 損 物 品 及 び 損 害 見 積 額	水 損 物 品 及 び 損 害 見 積 額	損害物品及び損害見積額			
	円	円	円			
積 載 物	り 災 物 件 の 所 有 者 ・ 管 理 者 ・ 氏 名					
6	車 両 ・ 船 舶 ・ 航 空 機	保険会社名		保険金額	円	
	積 載 品	保険会社名		保険金額	円	

津 山 圏 域 消 防 組 合

7	所有別	1 国有 2 県有 3 市町村有 4 財産区 5 私有 6 その他( )			
	種 別	300,000 円			
林 野	焼 損 物 件 の 内 訳	牧野 10 アール焼損 桃樹 5 年生 (20 本) 梅樹 5 年生 (10 本) 年生			
	焼 損 物 件 名 及 び 損 害 見 積 額	水 損 物 件 名 及 び 損 害 見 積 額	その他の損害及び損害見積額		
8	林野火災とは森林、原野又は牧野の樹木、雑草、飼料、敷料等をいう。(農地、住宅地にある立木や田の畦草の火災は、その他火災となる。)				
9	火災保険	林野・その他り災物件	保険会社名	農林保険	保険金額 1,000,000 円
10	連 絡 先	住所	氏名	電話	
注 意 事 項					
1. この届出は、消防法第 34 条に基づいて提出を求めるものです。 2. この届出の提出がなければ、り災の証明書が発行できない場合があります。 3. この届出は、り災した日から起算して 1 週間以内に提出してください。					
記 入 要 領					
(2)の欄) り災物件と届出者の関係は、あてはまるものを○で囲んでください。					
(3)の欄) 用途別は、乗用・貨物・貨物乗用・乗合バス・機関車・客車等の種別を具体的に記入してください。					
(4)の欄) 用途は、はしけ・機帆船・貨物船・遊覧船・旅客機・練習機・自衛隊機等の種別を具体的に記入してください。					
(5)の欄) り災物件の所有者・管理者・氏名は、物件の所有者・管理者と届出者が異なる場合のみ、あてはまるものを○で囲み、氏名を記入してください。					
(7)の欄) (1)所有別で、その他に該当する場合は( )内に具体的に記入してください。 (2)焼損物件の内訳は、立木の種類、生育年数、焼損本数又は石数を記入してください。					
備 考 不明な点の問い合わせ及び提出は、次の消防署へお願いします。 調査担当 署・所 氏名 電話番号 ( )					

津 山 圏 域 消 防 組 合

その他火災 記入例

様式第 11 号の 3(第 40 条関係)

提出年月日を記入

津山圏域消防組合  
消 防 長 殿

○○年○○月○○日

火元者等(占有者・管理者・所有者)で、当該車両について民法上最も権限を有するものの届け出を基本とする。

届出人住所 岡山県津山市林田○○番地  
職 業 会社員  
氏 名 消防 太郎

火 災 損 害 届 (車両・船舶・航空機・林野・その他)

1 り 災 日 ○○年 ○○月 ○○日 ← 時刻不明の場合は調査担当職員に聞き、提出の際に記入して下さい。

2 り 災 場 所 岡山県 津山市林田○○番地 店舗前の衣類陳列台  
及び対象名 衣服商店ふくや

り災物件と届出人の関係 1.所有者 2.管理者 3.占有者 4.その他( )

3 運 転 者 氏 名 車 名 ・ 年 式  
用 途 別 購 入 年 月 年 月  
車 両 番 号 購 入 金 額 円

焼 損 箇 所 及 び 損 害 見 積 額 水 損 箇 所 及 び 損 害 見 積 額 其 他 の 損 害 及 び 損 害 見 積 額  
円 円 円

4 船 (機) 長 名 船 (機) 名  
用 途 ・ 船 (機) 種 購 入 年 月 年 月  
屯 数 ・ 船 (機) 籍 購 入 金 額 円

焼 損 箇 所 及 び 損 害 見 積 額 水 損 箇 所 及 び 損 害 見 積 額 其 他 の 損 害 及 び 損 害 見 積 額  
円 円 円

5 焼 損 物 品 及 び 損 害 見 積 額 水 損 物 品 及 び 損 害 見 積 額 損 害 物 品 及 び 損 害 見 積 額  
円 円 円

り災物件の所有者・管理者・氏名

6 車 両 ・ 船 舶 ・ 航 空 機 保 険 会 社 名 保 険 金 額 円  
積 載 品 保 険 会 社 名 保 険 金 額 円

津 山 圏 域 消 防 組 合

7 林 野	所有別	1 国有 2 県有 3 市町村有 4 財産区 5 私有 6 その他( )					
	積載	単独の動産(建物内の動産以外)が火災損害を受けた場合が該当します。なお、焼損物件の内訳が多い場合は別紙「り災物件明細書」に内訳を記入し提出して下さい。					円
8 そ の 他	焼損物件名及び損害見積額	水損物件名及び損害見積額		その他の損害及び損害見積額			
	陳列台 100,000 円	衣服 (30 枚) 150,000 円		円			
9	り災物件の所有者(管理者)氏名	消防 太郎					
10	火災保険	林野・その他り災物件	保険会社名	衣服保険	保険金額	1,000,000 円	
10	連絡先	住所	氏名	電話			
注 意 事 項							
<p>1. この届出は、消防法第 34 条に基づいて提出を求めるものです。</p> <p>2. この届出の提出がなければ、り災の証明書が発行できない場合があります。</p> <p>3. この届出は、り災した日から起算して 1 週間以内に提出してください。</p>							
記 入 要 領							
(2)の欄 り災物件と届出者の関係は、あてはまるものを○で囲んでください。							
(3)の欄 用途別は、乗用・貨物・貨物乗用・乗合バス・機関車・客車等の種別を具体的に記入してください。							
(4)の欄 用途は、はしけ・機帆船・貨物船・遊覧船・旅客機・練習機・自衛隊機等の種別を具体的に記入してください。							
(5)の欄 り災物件の所有者・管理者・氏名は、物件の所有者・管理者と届出者が異なる場合のみ、あてはまるものを○で囲み、氏名を記入してください。							
(7)の欄 (1)所有別で、その他に該当する場合は( )内に具体的に記入してください。 (2)焼損物件の内訳は、立木の種類、生育年数、焼損本数又は石数を記入してください。							
備 考 不明な点の問い合わせ及び提出は、次の消防署へお願いします。 調査担当 署・所 氏名 電話番号 ( )							

津 山 圏 域 消 防 組 合